

もっと安心・ちばエコ農産物 春だいこん栽培暦

JA市原市 姉崎蔬菜組合 もっと安心生産グループ

1. 土づくり

緑肥としてエン麦の播種、牛糞堆肥、濃縮堆肥などを使用し土壌診断結果に基づいた施肥設計を行う。
10aにつき牛糞 1600kg、濃縮堆肥 100kg～150kg

2. 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量	成分
基肥	① 根菜ブリケット 938 化学 N5.3%	140kg	9-13-8 苦土 0.1 ほう素 0.3
	② 輝きユーキ 804 化学 N3.6%	140kg	8-10-4 苦土 3 マンガン 0.1 ほう素 0.05
	③ ちば根菜配合 606P 化学 N3.3%	140kg	6-10-6 苦土 3 ほう素 0.3
土壌改良材	④ 土のみかた	80kg	リン酸 8 苦土 12 マンガン 0.5 ほう素 0.2 ケイ酸 10
	※ レオグリーン特号	150～200kg	堆肥選択する。

※ 基肥に関しては、①～③の中より選択する。④は土壌診断の結果を考慮する。

3. 防除

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病虫害	備考 (耕種 的防除 の実施 等)	
10月上旬	播種 ↓ 中耕 ↓ 防除 ↓ 収穫	アオムシ・コナガ 白さび病・亀裂褐変症 キスジノミハムシ	リゾレックス粉剤 (1)	40kg/10a	亀裂褐変症	※1	
中旬			ダントツ粒剤 (1)	6kg/10a	アブラムシ	※2	
下旬			フォース粒剤 (1)	9kg/10a	キスジノミハムシ		
11月上旬			※1 他剤としてフロンサイド粉剤 40kg/10a ※2 他剤としてユニフォーム粒剤 9kg/10a ユニフォーム粒剤使用時は成分カウントが2つになる為、散布剤の使用に注意する。				
中旬			注意点:千葉エコの成分カウントが4成分の為、使用回数に注意すること。展着剤は成分カウントなし				
下旬							
12月上旬							
1月							
2月							
3月							
4月							
5月							
		アブラムシ	Zボルドー水和剤 (0)	500倍	白さび病	※3	
			スピノエース顆粒水溶剤 (0)	2500倍～5000倍	アオムシ・コナガ		
			アクタラ顆粒水溶剤 (1)	2000倍	アブラムシ類		
			※3 収穫前日数を確認後、使用してください。				

☆みんなで守ろう生産基準